

## 第9回議会報告会会議録(要約)

平成28年2月13日(土)午後7時開会  
上久米公民館

### 第1部—①12月定例会報告

#### ②総務文教常任委員会報告(公共交通、小中一貫教育)

#### ③産業厚生常任委員会報告(認定こども園、とどろき荘、産業振興)

【問】 小中一貫校が東条地域・社地域・滝野地域の順で開校となっているが、コスミックホールの関連で市民の反対があり社地域が先行するという話もあった。現状の東条地域の意向はどのようになっているのか、その後の経緯はどういう状況なのか。

【答】 昨年6月ぐらいまでは反対運動もあったが、10月に東条の西・東の代表区長さんと学校・保育園のPTAの方との検討委員会をつくり、小中一貫校の視察をしたりする中で、若い世代の方に関してはいいことであれば進めて欲しいという意見もあり、お一人以外全員賛成で意見がまとまった。その委員会の結果を踏まえて、本年1月28日の教育委員会において平成33年に東条、平成36年に社、平成39年に滝野という順で進めると決定した。

【問】 公共交通に関してはバスの利用や車関係の利用がメインで出ているが、生徒の自転車の通学に関して、基本的な自転車の走り方の教育などを含めた環境づくりも考えていただきたいが、そういう方向も考えられているか。

【答】 自転車のルール・マナーについて再度の教育ということで、教育委員会に報告、要望をしておく。

【問】 総務文教常任委員会では小中一貫教育の中でスクールバスが上がっている。産業厚生常任委員会では認定こども園の通園バスと、この通学バスと通園バスをうまくかみあわせることもできるのではないか。それともう一つ、産業厚生常任委員会で保育園と幼稚園の時間延長をするとあったが、保育料は単価的に幼稚園は安い、保育園は高いのではないか。

【答】 バスの一貫性ということは、確かに貴重なご意見として賜わる。

保育園は所得に応じて数千円から 3 万円、4 万円となる。0 歳、1 歳からは 10 万円かかる方もいる。幼稚園は今年から 3 歳から入れるが、およそ 5,000 円だったのが 5,500 円に値上げになる。今の時点で幼稚園の格差があるのは否めない事実だが、保育園にそろえるために幼稚園の料金を上げるのは難しい面もある。

【問】 ぽかぽは行政サイドの直営運営、とどろき荘は社会福祉協議会に委託契約。入湯料も違っていた。バランスのとれないやり方ではないか。

【答】 ぽかぽは直営ではなくふるさと振興協会がやっている。とどろき荘については、社会福祉協議会が併設の介護の施設と一体で経営しているため、福祉サービスということで高齢者は入湯料が半額であったがその部分をなくし、経営主体は違うが同じ形でやっている。福祉部門は切り離し、リニューアル後の平成 30 年度からは、新しい方を公募するので社会福祉協議会がやるのが前提にはならない。民間的な経営を両方の温泉で目指していく。

【問】 行政改革での縮小において、今後鴨川地区で教育施設がなくなるという一例があるが、米田地区においても同様である。地域を活性化するというを前提に論理を展開すべきでは。

【答】 保育園と小学校の跡の利用をどうしていくか地域の皆さんとの協議で決めていくことになっている。例えばコミュニティ施設とか地域の振興に役立つ施設にするのも一つの方向性である。

【問】 社地域は市街化区域と調整区域がある。調整区域では何もできない。地域の活性化についても議会で論議を展開して、行政側に提案していただきたい。

【答】 調整区域は、昔に厳しい線引きをしたというのが事実で、日本の人口も減る中、緩和して市街化区域に編入するとか人が住めるように解除しようというのは、なかなか県も認めてくれない。調整区域で関われることは特別指定区域の制度で、外からの人も入ってこれる形にすることで展開していくしかない気がする。

## 第2部一意見交換「加東市のまちづくりと地域の課題について」

【問】 議会だよりも読ませてもらうが、農業のことについての割合が少ないと思う。農業者平均年齢67歳で後継者がいない。いろいろな問題が出てきている。営農組合とか農業法人、認定農業者といろいろな制度があるが、農業振興整備計画にどのように反映されているか農業者にわかるように知らせてほしい。行政と農業であれば、JAという組織があるので協議会をもつとか交流するとかで計画を進めていける形にされてはどうか。

【答】 農業の振興は、行政がJAに取り組みを支援する形で補助金を出しているが、どこまで具体的な施策に踏み込んでいるのか、もう少し積極的な情報発信なり見える形でやるのが今後の課題になる。農林課では積極的に取り組んでいる有害鳥獣の対応、担い手の支援もやっている。高齢化となると、私見になるが特別指定区域の制度を使って若い方を外から呼ぶことも検討のうちかと思う。

【答】 補足だが、農業の振興ということで稲作が盛んで、山田錦が特産品として大事にされていることは誇るべきことで、今回の増産が出来るという取り組みもしていただいているが、桃園などの他の部分が弱くて考えなければならない。

【問】 インターネットで農業振興整備計画がホームページで出てこない。出ればこんな計画で市側はやっているのだとわかりやすい。

【答】 ホームページの件は調べて見られないようであれば対応できるようにしたい。

【意見】 加東市民病院に最近はかかったことはないが、周りの人は日常的な健康管理はかかりつけのまちな医者で済みます。重い病気とか治療するには北播磨や西脇というように、社が一番中途半端。医者のレベルもそうだが、その狭間で苦戦してるのではないか。

【意見】 加東市民病院に通っているが、医療の充実というものがなっていない。それで患者さんが少ないと思う。

【答】 今は先生が 11 人で、医師が少ないとどうしても充実できない。医師の確保ができないと全て止まっているようなところもありご迷惑をかけているところもある。

【問】 今、病院の累積欠損はどれぐらいか。

【答】 2、3年前にすでに 10 億円超えたので、毎年 2 億円、3 億円抱えるので約 19 億円にはなっている。

【意見】 徳洲会とか大きな民間の組織に全部委託。  
行政が負担すべき額を決めるべき。

【問】 公共下水工事は大体終わったが、今現在使用料で建設費の償還を充てるはずだがまだ利用率が上がってないのではないか。普及率は何％になっているのか。

【答】 確かに一般会計で入れているのは事実である。本来、利用者からいただいたお金で償還すべきだが、償還の分もふくめてペイするまで値上げはしていない。是正するには値上げだが、なかなかできないというところである。普及率は約 92%です。

閉会 午後 8 時 11 分